

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 EXP-R325		S/No. _____	
お 買 い 上 げ 年 月 日		年 月 日	
保 証 期 間		対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご 住 所	〒 _____ TEL (_____) _____	
販 売 店	店 名・住 所	_____	
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本書に記載してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※ 本書を紛失しないように大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

EXPARTNER®

YUPITERU

1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

EXP-R325

取扱説明書

12V車専用

ダウンロード対応



目 次

必ずお読みください

本機の機能について	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7
本書をお読みいただくにあたって	9
本機について	11
同梱物の確認・各部の名称とはたらき	13
別売品のご案内	16

使用の準備

取り付け、電源コードの配線	17
リモコンの準備、microSDカードの出し入れ	24

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	26
----------	----

基本的な使い方

電源を入れる～出発	28
画面表示について	
待受画面	32
各待受画面の説明	34
アイコン表示について	38
GPSターゲットに接近すると	39

取締りレーダー波を受信すると	41
各種無線電波を受信すると	43
警報画面について	44
警報ボイスについて	45
各種無線電波について	62
警告させたい地点を登録する（マイエリア）	63
レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する（マイキャンセルエリア）	64

カスタマイズ

システム設定	65
レーダー設定	68
GPS設定	70
無線設定	71

ity.

ity. MAPサービス	72
ity. データ更新サービス	74

その他

故障かな？と思ったら	75
仕様	78
アフターサービスについて	79
保証書	裏表紙

株式会社 ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1562-B

本機の機能について

必ずお読みください

警報を知る

GPS 52 識別警報

45 ページ

GPSデータ11万1千件以上！
取締・検問データ3万6千件以上！
全国マップ上に表示するから正確！

安全！

警報 警告
告知 情報



ベストパートナー 2 識別警報

43 ページ

カーロケ近接受信です

万全！

警報



レーダー波 3 識別 警報

42 ページ

ステルスです

安心！

警報



無線 2 バンド識別 警報

43 ページ

取締り無線です

警戒！

警報 警告
告知 情報



情報を知る

必ずお読みください

業界最速 "クイック測位™"

11 ページ

測位しました

早い！

クイック測位™
GPS受信



業界最多「実写警報 REALPHOTO」

44 ページ

全国4300件以上の実写収録

最多！

REALPHOTO



オービスロケーション ガイド機能搭載

66 ページ

"この先の〇〇交差点を
通過して〇〇〇メートル先
ループコイルです"

親切！



自動で誤警報カット！

69 ページ

自動ドアなどが原因で発生する
誤警報を自動で識別し登録します！

キャンセル中です

快適！

誤警報カット
iキャンセル
[特許 第3902553号]
[特許 第4163158号]



ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

 この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

 この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

警告

 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

● 電源コードについて

警告

 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

 お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

 シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

 シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

警告

 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

 エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

警告

 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

安全上のご注意

必ずお読みください

⚠ 注意

- ❌ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。
- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❌ 落したり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
- ❌ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- ❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ 注意

- ❗ 同梱のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできませんので、お早めに新品電池と交換してください。
- ❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。破損や発火、故障の原因となります。
- ❌ ボタン電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。感電、ショートの原因となります。
- ❌ 長時間で使用にならない場合は、ボタン電池を外して保管してください。ボタン電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しいボタン電池と交換してください。
- ❌ 使用済みのボタン電池を火中に投げ入れないでください。爆発して火災や火傷の原因となります。
- ❌ 指定以外のボタン電池は使用しないでください。
- ❌ 電池の極性（+、-）を正しく入れて下さい。

⚠ 注意

- ❗ 車から離れるときは、電源をOFFにしてください。使用しないときは電源をOFFにしてください。

使用上のご注意

つづく

必ずお読みください

■ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■ 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能（●11ページ）が、はたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

取り付け（●17ページ）に関する注意

- GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- 他の機器のアンテナの近くや、金属など障害物の陰にならない場所に取り付けてください。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- 本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ（1A）

と交換してください。

なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様で相談センターにご相談ください。（●79ページ）

レーダーアラーム（●41ページ）に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。（●27ページ）
- レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。（●26ページ）

GPS測位機能（●11ページ）に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス（●45ページ）は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線2バンド受信機能（●43ページ）に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。

現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別(●43ページ)は、はたらきません。

画面表示に関する注意

- GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、バーチャルポジショニングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- 画面右上の時計表示は、GPS測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。(●38ページ)

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによるダッシュボードの変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

microSDカード(●25ページ)に関する注意

- 付属のmicroSDカードは、本機専用で使用するください。
- microSDカードの出し入れは、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

- 本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

必ずお読みください P. 2

使用の準備 P. 17

取締りのミニ知識 P. 26

基本的な使い方 P. 28

レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。

カスタマイズ P. 65

機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。

ity. P. 72

ity. マップサービスと ity. データ更新サービスのご案内です。

その他 P. 75

「故障かな?と思ったら」が記載されています。例外的な手順はこちらをお読みください。

- 説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。
- 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本書をお読みいただくにあたって

必ずお読みください

本書内には説明のために、以下の各種アイコンが記載されています。



リモコンの操作が必要な場合に、色がついているボタンを使用して操作することを表しています。



実際に押していただくリモコンのボタンと、次に進む方向を表しています。



用語の解説を行います。



本機をうまくお使いいただくためのアドバイスです。



他のページへ読み進んでいただくときに表示します。

初期設定

お買い上げ時の初期設定を表しています。

サイレント警報

画面表示のみのサイレント警報をする場合に表示します。注意度の低いターゲットを画面表示のみで警告/お知らせします。不要なボイスが流れませんので、運転を妨げません。



ボイス警報をする場合に表示します。

左右方向識別ボイス

左右方向識別ボイスが流れる場合に表示します。

オービス5段階警報

オービス5段階警報をする場合に表示します。

本機について

つづく

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス (無人式自動速度取締り装置) にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、52種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS52識別]

Gセンサー & VPS

GPS・Gセンサーで、自車の進行状態を検知して、ルートのをずれを補正します。
GPS非測位時には、VPS (バーチャルポジショニングシステム) が行う進行距離計算にGセンサーからの加減速変化を加えることによって、より高精度な警告をすることができます。

クイック測位

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置情報をすばやく測位することができます。

<Gセンサー & VPS>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となり、また<クイック測位>により測位までの時間が大幅に短縮されて、地下駐車場から地上 (測位可能範囲) に出た直後などでも、付近のオービスや取締ポイントの警報を行うことができます。

※ 次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源をOFFにしてから48時間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある (存在する) 場所で本機の電源をONにした場合。

受信可能な電波

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{GPS}} + \frac{\boxed{\text{Xバンド}}}{\boxed{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線2バンド}} = \boxed{5 \text{ BAND}}$$

必ずお読みください

本機について

必ずお読みください

◆トンネル内の警報・警告

本機は、GセンサーおよびVPSにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。

●トンネル内オービス3段階警報

トンネル内のオービスから約2km(高速道のみ)／1km／500m手前の最大3段階でお知らせします。

●トンネル内追尾式取締エリア警告

トンネル内の追尾式取締エリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告

トンネル出口直後のネズミ捕りエリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット(オービスなど)に対し、トンネル入口の手前約500mと直前の2カ所(※)で警報します。

※ GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況、または地理的な状況によっては、1カ所だけの警報になります。

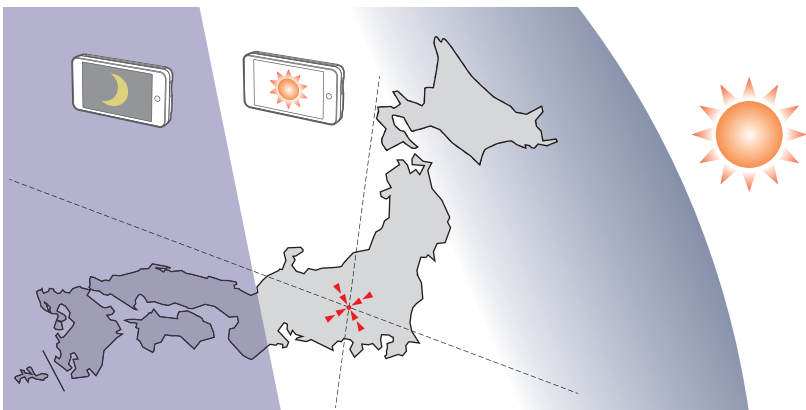
●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPSの位置・時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じ、日の出、日の入りを計算し自動的に画面表示の明るさを調整します。



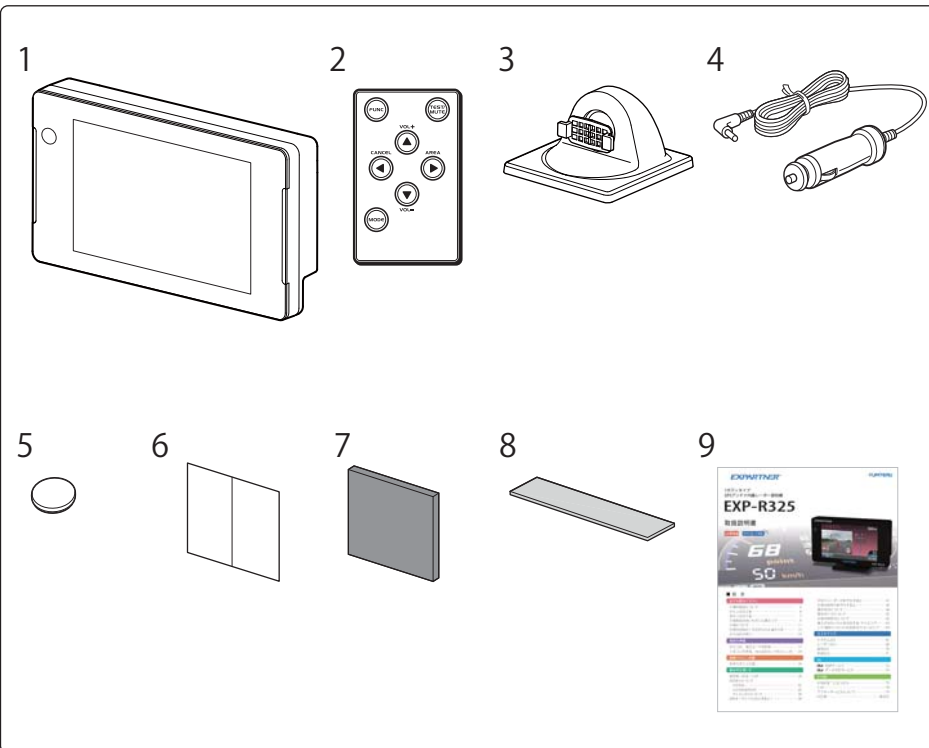
※図は説明のためのイメージです。実際の画面の明るさは異なります。

同梱物の確認・各部の名称とはたらき

つづく

同梱物の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機	EXP-R325本機です。
2	リモコン	本機を操作するためのリモコンです。
3	ダッシュボード取付け用ブラケット	本機を車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取付角度を上下左右に調整できます。
4	シガープラグコード	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
5	リモコン用リチウム電池	リモコン用の電池(CR2025)です。
6	粘着シート	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
7	粘着マット	ダッシュボード取付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
8	直付け用両面テープ	本機をダッシュボードに直接取り付けます。

必ずお読みください

同梱物の確認・各部の名称とはたらき

必ずお読みください

番号	名称	説明
9	取扱説明書・保証書(本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。
—	microSDカード(2GB)	本機で使用する各種データが記録されています。(本機にあらかじめ装着されています。)

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

警告

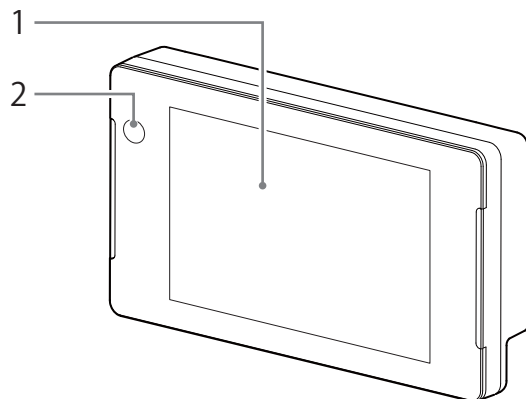


microSDカードに保存されているデータの消失や本機の故障の原因となることがありますので、本書内でmicroSDカードについての説明をするとき以外は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

各部名称

本機

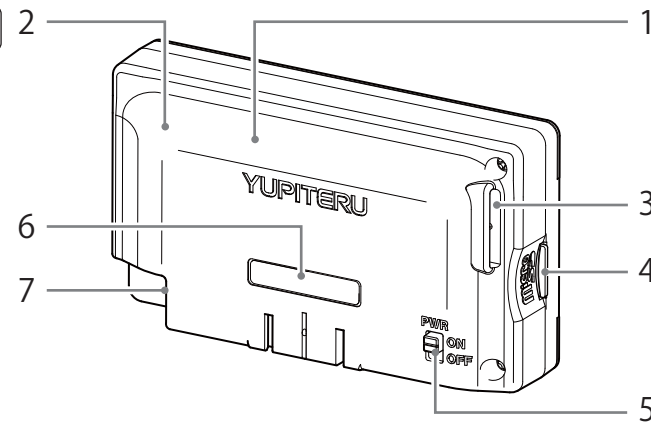
正面



液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

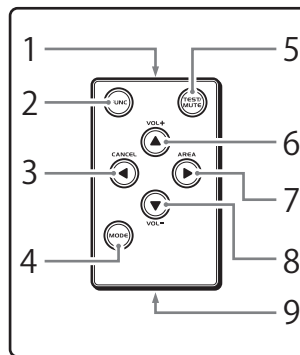
番号	名称	説明
1	表示部	MVA 液晶ディスプレイ ワイド3.2インチです。実写や動画、文字表示などで警報を行います。
2	赤外線受光部	リモコンの赤外線信号を受信します。

背面



番号	名称	説明
1	レーダー/無線アンテナ部	取締りレーダー波と各種無線信号電波を受信します。
2	GPSアンテナ部	GPS衛星からの電波を受信します。
3	スピーカー	警告音などを出力します。
4	microSDカード挿入口	本機で使用するmicroSDカードがあらかじめ装着されています。
5	電源スイッチ[PWR]	「ON」にすると電源が入ります。
6	シリアルナンバー	製造番号が印刷されています。
7	DCジャック	シガープラグコードなどのプラグを接続します。

リモコン



番号	名称	参照ページ
1	赤外線発光部	—
2	[FUNC]ボタン	➡32ページ
3	[左/CANCEL]ボタン	➡64ページ
4	[MODE]ボタン	➡35ページ
5	[TEST&MUTE]ボタン	➡41ページ
6	[上/VOL+]ボタン	➡30ページ
7	[右/AREA]ボタン	➡63ページ
8	[下/VOL-]ボタン	➡30ページ
9	電池ホルダー	➡24ページ

必ずお読みください

別売品のご案内

必ずお読みください

電源直結コード(OP-4)



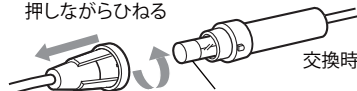
シガープラグコードのかわりに、車内のアクセサリ系端子から直接電源を取り出します。コードが目立たず配線をすることができます。

電源直結コード(OP-4)使用時は、シガープラグコードは使用できません。

¥1,575 (税込)
コード長:約4m

■ヒューズの交換方法

押しながらひねる



交換時ヒューズを落下させないようにしてください。

交換用ヒューズ：管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

取り付け

つづく

本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードをつなぐ」「リモコンを準備する」の手順に従って説明します。

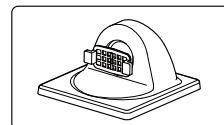
まず本機を取付けます。下記の2通りの取り付け方法があります。

①ダッシュボード取付け用ブラケットで取り付ける

②両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

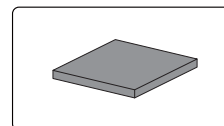
どちらかの方法で取り付けを行ってください。

①ダッシュボード取付け用ブラケットで取り付ける



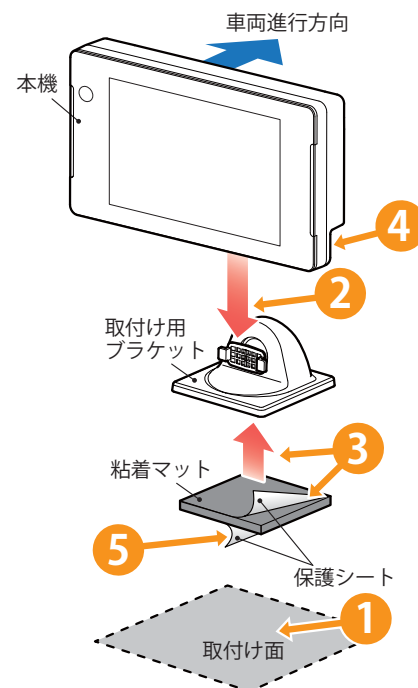
ダッシュボード取付け用ブラケット

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。[特許出願中]



粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。



1 ダッシュボードの取り付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。
取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。

2 本機の溝をブラケットに合わせ取付けます。

3 保護シートを片面だけはがし、粘着マットをブラケットに貼り付けます。

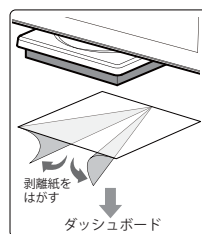
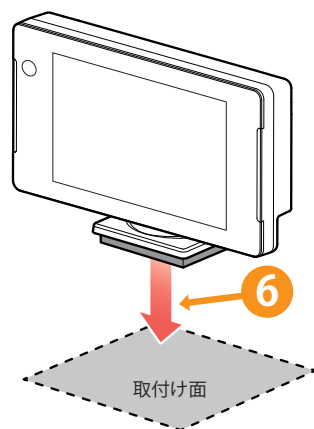
4 シガープラグのDCプラグを本機に挿して、PWRをONにしておきます。

5 残りの保護シートをはがします。

粘着マットは水洗いできます

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

使用の準備



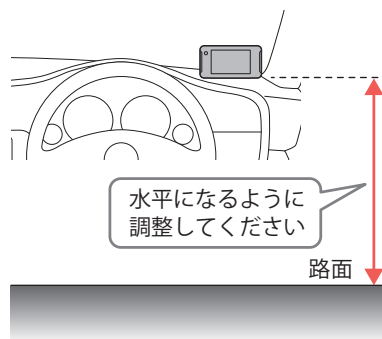
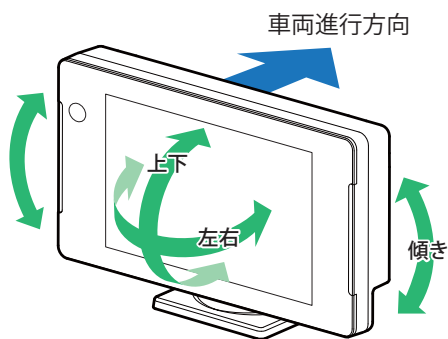
6 ダッシュボードの取り付け面に取り付けます。本機を破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます

粘着シート[特許出願中]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、剥がして再度貼り付けることができます。

それでも安定した取り付けができない場合は市販の強力型両面テープ(厚さ2 mm 以上)を使用し取り付けてください。

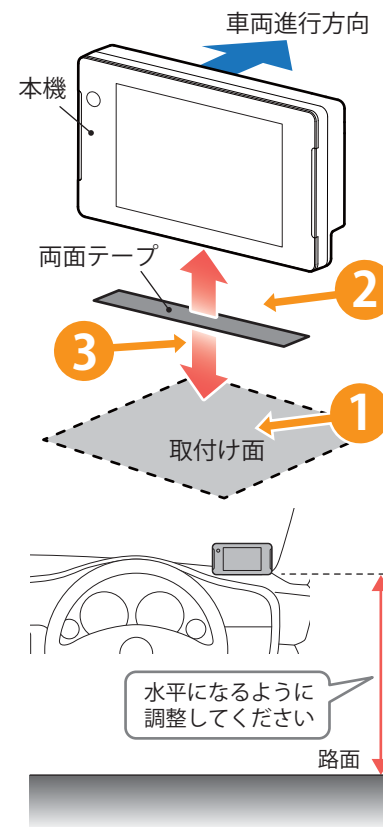
7 Gセンサーが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。



⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ❗ GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

②両面テープでダッシュボードに直接取り付ける



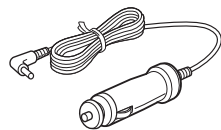
1 ダッシュボードの取り付け面にホコリ、汚れや脂がないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。

2 直付け用両面テープの保護シートを片面だけはがして、本機の底面にしっかりと貼り付けてください。

3 直付け用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。取り付けをしたあと、剥がすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

2種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

標準品



①シガープラグコード

別売品

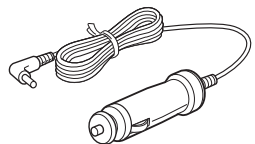


②電源直結コード(OP-4)

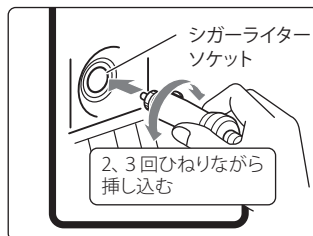
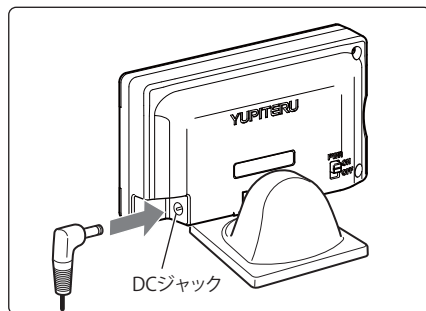
使用の準備

①シガープラグコードによる配線

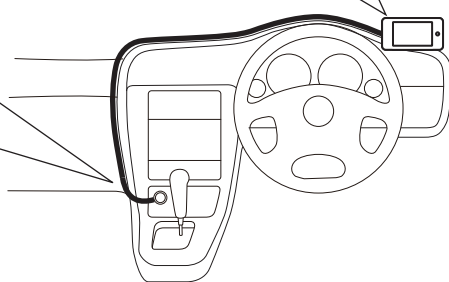
標準品



シガープラグコード



2、3回ひねりながら挿し込む



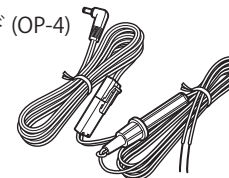
※図の配線経路は一例です。

シガープラグコードをシガーライターソケットに2,3回ひねりながら挿し込んでください。

ご注意ください

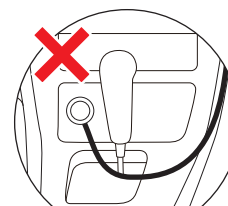
- 一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-4)をご使用ください。

電源直結コード(OP-4)

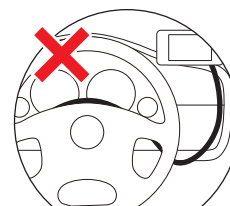


使用の準備

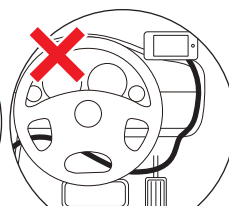
- 特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



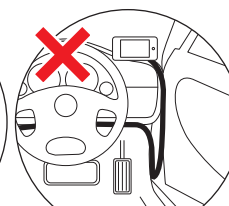
シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

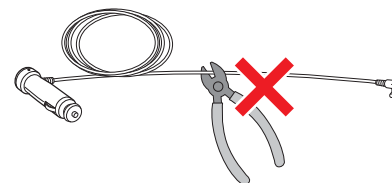


ペダル
操作の邪魔



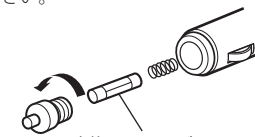
コードの
挟み込み

- シガープラグコードの方が長くても、切って短くしないでください。



- ヒューズの交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。



交換用ヒューズ：
管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

アドバイス

市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



配線はこれで終了です。24ページの「リモコンの準備」に進んでください。

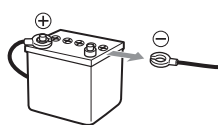
電源コードの配線

②電源直結コード(OP-4)による配線

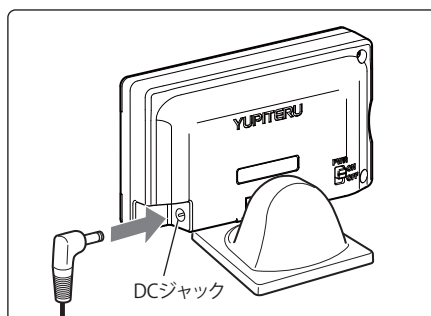
別売品

警告

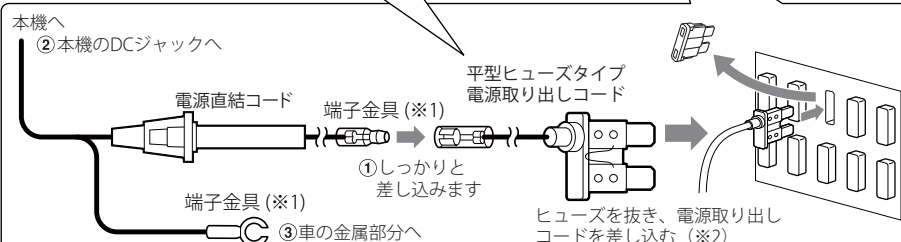
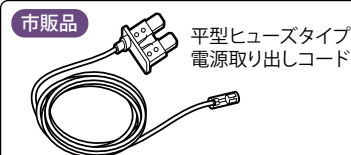
- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



別売品



市販品



※1: 端子金具は付属されていません。市販品をご用意ください。
※2: ヒューズの交換先は必ず、イグニッションキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

※図の配線経路は一例です。

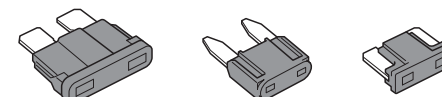
ご注意ください

- ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)

警告

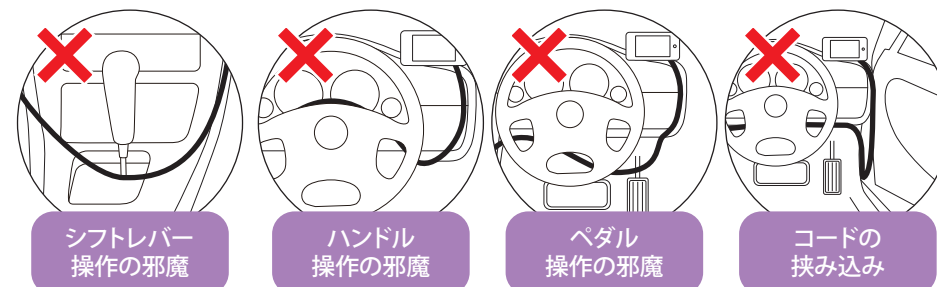
- ！平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

車両側ヒューズ形状

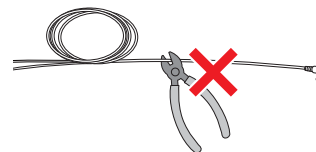


ノーマルタイプ ミニタイプ 低背タイプ

- 特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。

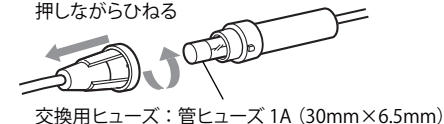


- 電源直結コードの方が長くても、切って短くしないでください。



- ヒューズの交換方法

交換時ヒューズを落下させないようにしてください。
押しながらひねる



アドバイス

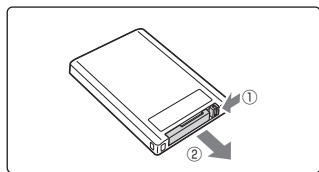
市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



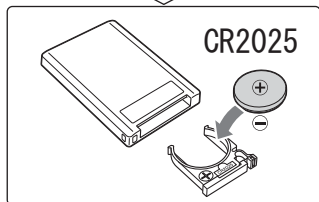
配線はこれで終了です。24ページの「リモコンの準備」に進んでください。

リモコンの準備

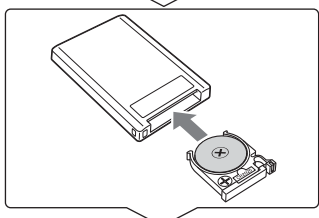
付属のリモコン用リチウム電池(CR2025)をリモコンに入れてください。



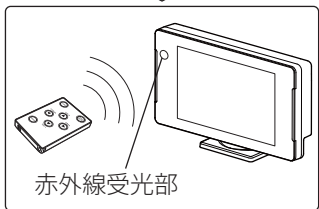
電池ホルダーを取り出す
①の方向に押しながら、②の方向に引き出してください。



⊕マークを上に向け、電池を入れる
※電池の向きに注意してください。



電池ホルダーをリモコンに差し込む



本機の赤外線受光部に向けて操作する

赤外線受光部

- 直射日光のあたる場所には、長時間放置しないでください。
- リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- CR2025以外の電池は、使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

警告



使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

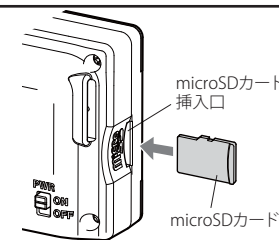
microSDカードの出し入れ

注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

GPSデータ更新などでmicroSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

付属のmicroSDカードを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまでmicroSDカード挿入口に押し込んでください。



microSDカードの取り扱いについて

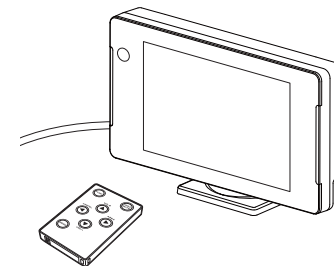
付属のmicroSDカードには本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(▶44ページ)や「3Dゾーンマップレーダースコープ」(▶39ページ)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

重要

- microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口(0120-998-036)にご相談ください。

お疲れ様でした。
これで本機をお使いいただくための準備は終了です。



取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

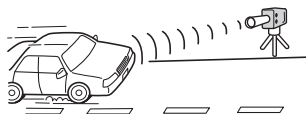
スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

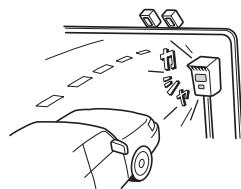
取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



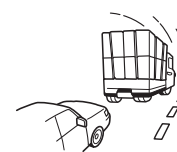
移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔下り坂〕



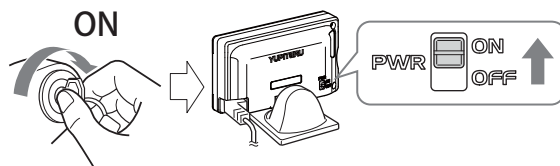
〔コーナー〕

ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

電源を入れる



1 エンジンキーをONにし、本機の電源スイッチを『ON』にしてください。

待受画面表示(例)



『測位しました』

2 本機がGPS衛星を見つけると、画面が待受画面に変わります。必ず『測位しました。』のボイスを確認してから出発してください。本機の位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。

GPS ターゲット警報(例)



H システム警報(例)



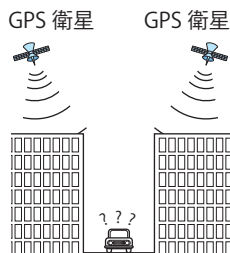
測位しました

本機がGPS衛星からの電波を受信し、それを基に自機位置を認識したことを表して、『測位しました。』と音声流れます。

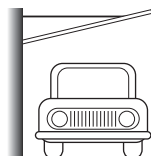
測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車を停車して行ってください。

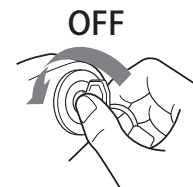
建物の谷間



屋根の下



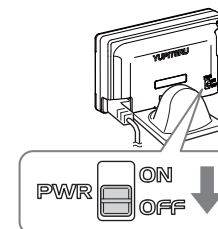
電源を切る



車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源も切れます。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源が切れない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源が切れない場合があります。その場合は、本機の電源スイッチをOFFにして電源を切ってください。

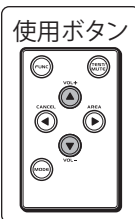


警告



本機の電源を切るためにコードを抜くと、故障の原因となったり、microSDカード内のデータが消失する場合があります。本機の電源を切るときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、本機の電源スイッチをOFFにして電源を切ってください。

音量の調節



リモコンの[上/VOL+]および[下/VOL-]ボタンで音量を調整できます。『ビッ』という確認音で音量を確認してください。

VOL7(最大)からさらに[上/VOL+]ボタンを押すと、『プブッ』と鳴ります。

マナーモード

マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

VOL0(消音)からさらに[下/VOL-]ボタンを押すと、マナーモードになります。元に戻すには、[上/VOL+]ボタンを押してください。

設定終了～出発

本機のすべての機能(オールオンモード)を使う設定が完了しました。なお、ここまでの設定は、1度行えば、次回の電源ON以降は必要ありません。

『測位しました。』とボイスが流れてから出発してください。



現在の設定概要は次のようになっています。

待受画面：時計	時計画面が表示されます。
表示切替距離：1,000m	GPSターゲットが1,000m以内にある場合に、3Dゾーンマップレーダースコープ画面に切り替えて警報します。
受信感度モード：AAC / ASS	時速30km未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また、時速30km以上では、速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音：メロディ1	警報の発生時、オリジナルのメロディが流れます。
Iキャンセル：ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。
時報：ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時です。』と音声流れます。

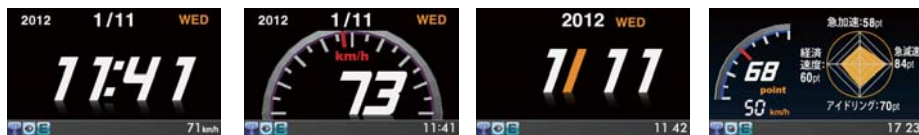


GPSターゲット

過去のデータに基づいたオービス、取締・検問エリアや交通監視装置、公共施設などの位置が本機に登録されています。GPSを使って、接近してしまう前にドライバーにその存在を警報・告知します。この登録地点のことをGPSターゲットといいます。

待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。



時計

速度

カレンダー

エコドライブ



加速度

バーチャルオドメーター

測位情報

- ・初期設定は、「時計」に設定されています。
- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。GPS非測位時は右上の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。
- ・走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・リモコンの[FUNC]ボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更できます。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、itx.MAPサービス(72ページ)をご活用いただけます。

表示方法

 必ず、車を止めてから操作してください。

リモコンの[FUNC]ボタンを長押し(約1秒)する。



- ・表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- ・表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- ・GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- ・戻るときは、[FUNC]ボタンを押してください。
- ・表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

選択方法

待受画面は、7種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。

待受画面が表示されているときに、表示させたい待受画面が表示されるまで、[FUNC]ボタンを繰り返し押すと、待受画面を選択できます。



各待受画面の説明

時計



現在時刻を表示します。

- 時刻合わせはGPS測位により自動でおこなわれますので、時刻合わせは必要ありません。
(GPSの測位状況により合わない場合があります。)

速度



速度

車両の速度をアナログ針と数値で表示します。

カレンダー



日付を表示します。

- 日付合わせはGPS測位により自動でおこなわれますので、日付合わせは必要ありません。
(GPSの測位状況により合わない場合があります。)

エコドライブ



エコドライブモニター(特許出願中)を表示します。

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、「急加速のポイント」、「急減速のポイント」、「アイドリングのポイント」、「経済速度のポイント」の4項目から運転を総合評価します。

速度の数値はGPS波を受信して表示しています。トンネル内などGPS波を受信できない場所では速度の表示ができません。

エコドライブ(続き)

急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。 (初期値: 70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。 (初期値: 70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。 (初期値: 70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。 (初期値: 70pt) ※実際の交通規制に従って走行してください。
総合評価	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

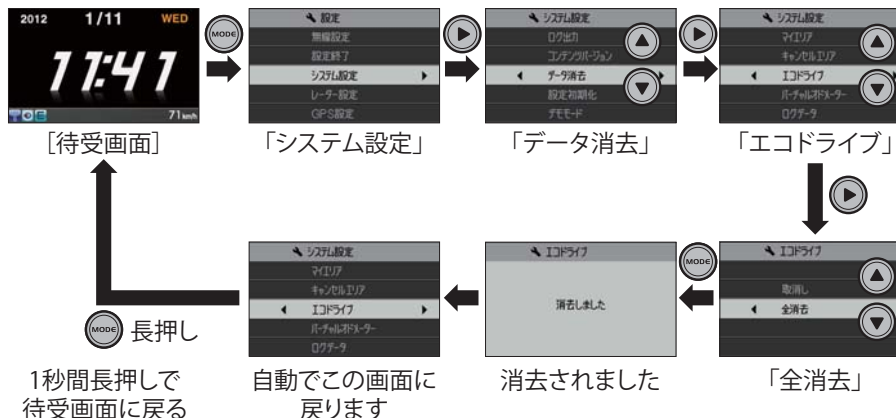
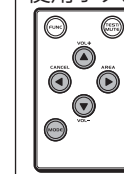
- GPS電波を受信できない場合は、各項目の採点は行いません。
- 加速度計は、加速時や減速時に合わせて変化します。
- 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

ポイントのリセット

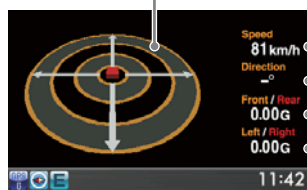
各ポイントを初期値の70ptにリセットできます。

- いったんリセットすると、元には戻せませんので、ご注意ください。
- 各ポイントを個別にリセットすることはできません。

使用ボタン



加速度



加速度

加速度の方向と強さを矢印と線で表します。
※前方に加速した場合、矢印は後方になります。

走行速度

傾斜角

前後の加速度

左右の加速度

常に一定方向の加速度を表示している場合には、水平な場所に移動し、電源を入れ直してください。

バーチャルオドメーター



目的地

走行距離

周回数

実際の走行距離を日本地図上で海岸線を巡る仮想コースに当てはめ、日本一周旅行の擬似体験ができます。

目的地	現在向かっている県の県名です。
走行距離	現在までの走行距離です。
周回数	現在の周回数です。

スタート地点の設定



スタート地点	県
北海道	北海道
東北	宮城
関東	東京
信越	新潟
北陸	石川
東海	愛知

スタート地点	県
近畿	大阪
中国	広島
四国	高知
九州	福岡
沖縄	沖縄

1 初めてバーチャルオドメーターを選択した場合は、スタート地点の設定をします。表示された中からスタート地点を⓪⓪ボタンで選択し、⓪ボタンで決定してください。

2 「東まわり」か「西まわり」かを⓪⓪ボタンで選択し、⓪ボタンで決定すれば初期設定終了です。

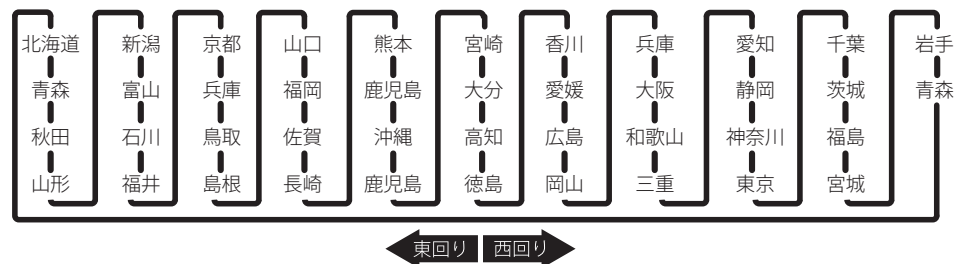
- スタート地点の設定を終了させる前であれば、⓪ボタンで前の画面に戻ることができます。
- もう一度初期設定を行いたい場合は、「データ消去」(P.67ページ)を参照してください。

方向を選択してください

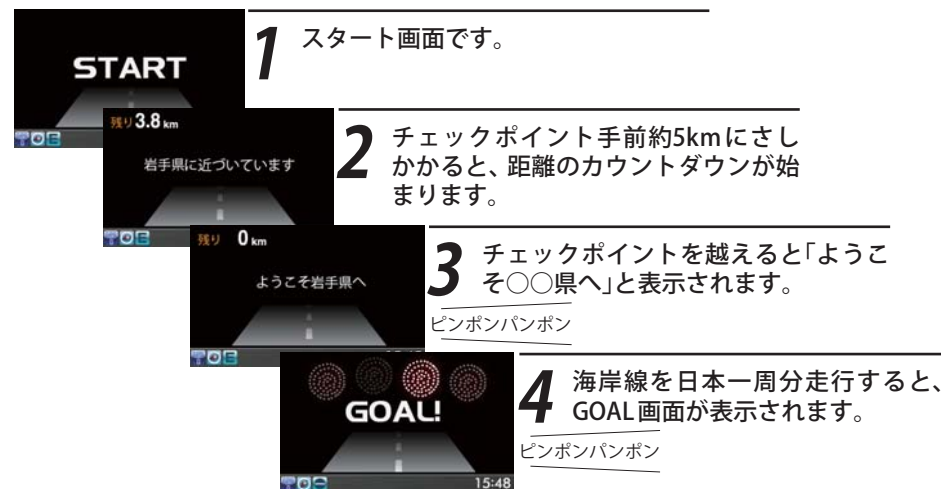


バーチャルオドメーター(続き)

チェックポイント順番



バーチャルオドメーターのSTART~GOAL



- スタート地点の設定をして他の待受画面に切り替えた場合でも、走行に伴ってバーチャルオドメーターは動き続けます。他の待受画面からバーチャルオドメーターに変更すると、最後に通過した県境表示またはGOAL表示が表示されます。

測位情報



衛星位置

GPS波を受信している衛星の位置。

衛星ナンバー・受信レベル

GPS波を受信している衛星ナンバーと受信電波のレベル。
※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

アイコン表示について

画面下部にレーダー受信感度などのアイコンを表示します。

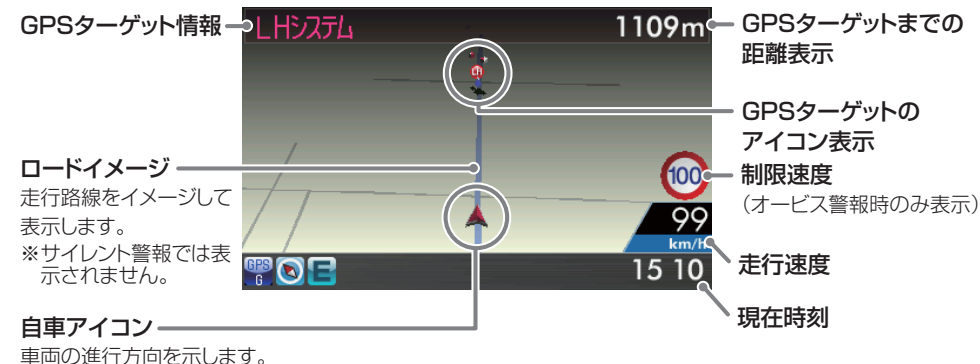


表示名	アイコン	表示の意味
① GPSサーチ中表示		電源をON後にGPS測位するまでの間や、測位した後一定の間GPS電波を受信できなかった場合に点滅表示します。(➡11ページ)
② GPS測位表示		GPS電波の受信ができていないことを表しています。
		GPS電波の受信ができていないことを表しています。
③ 方位磁針表示		GPS測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。(停車状態のままでは針が青色で動きません。)
④ レーダー受信感度モード表示		AAC/不要警報カットやレーダー受信感度の状態を表示します。(➡68ページ)
⑤ カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。(➡43ページ)
⑥ 取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で表示します。(➡49、50ページ)
⑦ 駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(➡52ページ)
⑧ 車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。(➡55ページ)
⑨ ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(➡41ページ)
⑩ 時計表示		現在の時刻を表示します。また、待受画面を「時計」にしている場合は、速度表示になります。(➡34ページ)
⑪ ログ機能表示		ログ機能がONの場合、パーセント表示(0%～100%)します。(➡73ページ)

・表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

3Dゾーンマップレーダースコープ画面 [特許出願中]

本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、待受画面からターゲットの存在をお知らせするレーダースコープ画面に切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。



- ・制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ・表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれることがあります。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・GPS非測位時、走行速度は表示しません。
- ・カーナビゲーションシステムではありませんので、地図上に地名・道路・建物等の名称は表示しません。
- ・画面に表示される地図のデータ更新はできません。

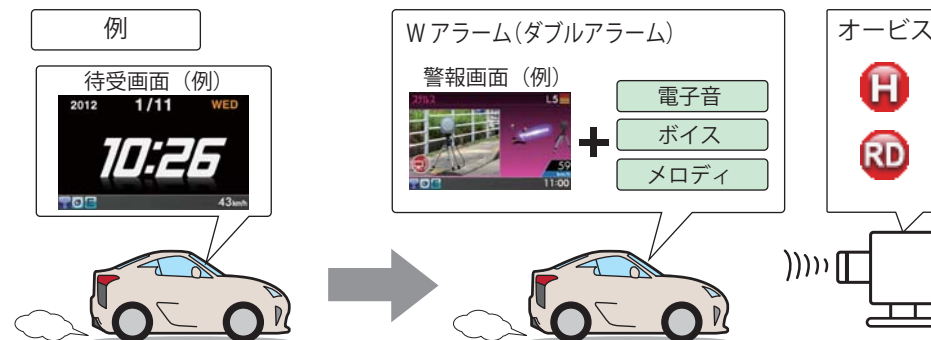
GPSターゲットアイコン一覧

GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	LC
	LHシステム	LH
	新Hシステム	H
	レーダー式オービス	RD
黄色	マイエリア	M
	マイキャンセルエリア	CAN
	ネズミ捕りエリア	🐭
	移動オービスエリア	🚌
	追尾式取締エリア	🚗
	一時停止取締エリア	STOP
	交差点取締エリア	🚦
	その他取締エリア	🚗
	シートベルト検問エリア	👤
	飲酒検問エリア	🍷
	携帯電話検問エリア	📱
	その他検問エリア	👤
	交差点監視ポイント	📍
	信号無視抑止システム	🚦
	高速道 交通警察隊	🚓
	一時停止注意ポイント	🛑

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	N
	交通監視システム	📺
	警察署	🚓
	事故多発エリア	!
	交番	🚓
緑色	踏切	🚶
	サービスエリア	SA
	パーキングエリア	PA
	ハイウェイアシス	🛣️
	高速道 長/連続トンネル	🛤️
	ハイウェイラジオ受信エリア	📻
	道の駅	🏠
	ビューポイントパーキング	📷
	駐車場	P
	消防署	🚒
	公衆トイレ	WC

取締りレーダー波を受信した場合は、すぐに警報・告知を行う画面に切り替わります。



Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

警報中にリモコンの[TEST&MUTE]ボタンを押すと、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	速い ← 近い
電子音	断続音から連続音に変化します。
表示部	受信レベルが変化します。 受信レベル表示

・電子音以外はテンポアップしません。

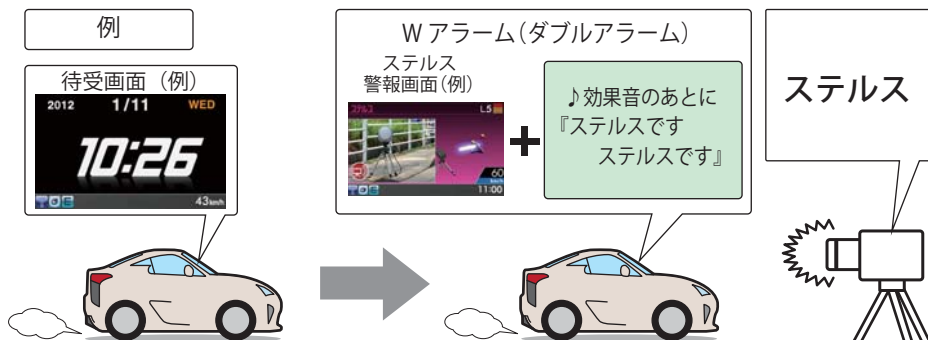


電子音/ボイス/メロディの設定については⇒P.68

取締りレーダー波を受信すると・・・

ステルス波を受信すると

警報画面と専用の警報ボイスで警告します。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音(メロディ、ボイス、電子音)の警報になります。(ステルスにアイコンはありません。)

レーダー波3識別 (iDSP) について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(●69ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

【ステルス識別】

【インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号】

- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 キャンセル告知



- 3Dゾーンマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

各種無線電波を受信すると・・・

$$\text{GPS} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線2バンド} = \text{5 BAND}$$

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信が出来ます。

1. 無線 2 バンド 受信機能



2. ベストパートナー 2 識別

カーロケ無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線 (407.7MHz帯の電波) を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

【検問注意：特許 第4119855号】

【並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号】

- 「カーロケ取締無線」の設定(●71ページ)を「ON」にする

- OFFの状態では、ベストパートナー機能がはたしません。

種々の無線を受信すると・・・



カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

※上記表示の後、実写画像に変わります。

緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき

警報画面について

警報画面

取締レーダー波を探知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットから1km(高速道では2km)に近づくと、待受画面から「3Dゾーンマップレーダースコープ画面」や「実写警報 (REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面に切り替わります。本機にGPSターゲットが登録されていない場合は、待受画面から警報画面に切り替わります。



基本的な使い方

警報画面 警告ムービー 4色識別アラーム



- 赤** ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。
- 黄** 取締りエリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。
- 青** 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。
- 緑** ETC レーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

実写警報「REAL PHOTO (リアルフォト)」

オービス実写例



約 1km 手前で小さく表示

- 高速道のみ約 2km 手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- 実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例



約 1km 手前で小さく表示

- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締エリアはエリア内でのみ表示します。

警報ボイスについて

つづく

左右方向識別ボイス



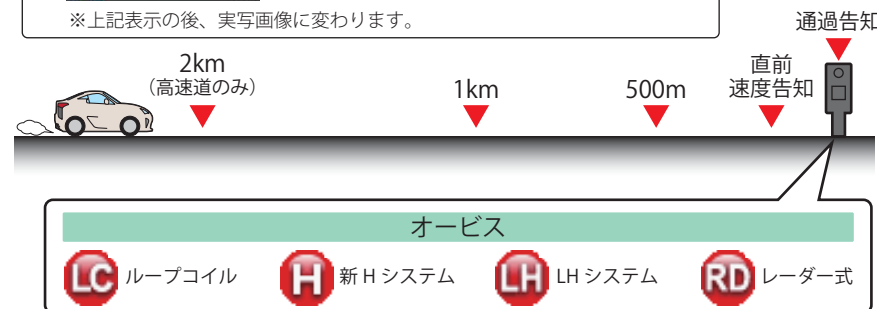
GPS 警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上するとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

警報ボイス (52識別)

- ・各項目の初期値は、70ページをご覧ください。
- ・設定モードにて、各項目のON/OFFが可能です。(☛70ページ)

オービス5段階警報



●警報音 (ボイス) によるお知らせ (例)

距離およびタイミング	お知らせ例	お知らせ条件
手前約2km (高速道のみ)	→ 『2km先 高速道 LHシステムです。』	車両の現在速度が走行路線の制限速度を超えている場合にお知らせします。
手前約1km	→ 『1km先 高速道 LHシステムです。』	GPSの受信状況や内蔵されているGセンサーの動作状況により、『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。
手前約500m	→ 『500メートル先 高速道 LHシステムです。』	
直前速度告知	→ 『走行速度は60キロ以下です。』	車両の現在速度をお知らせするもので、走行路線の制限速度ではありません。
通過告知	→ 『通過します』	

※このオービス5段階警報は、トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては機能しません。

基本的な使い方

直前速度告知

オービス直前での車両の現在速度をお知らせします。

『走行速度は〇〇です。』

「120 キロ以上 / 120 キロ以下 / 110 キロ以下 / 100 キロ以下 / 90 キロ以下 / 80 キロ以下 / 70 キロ以下 / 60 キロ以下 / 50 キロ以下 / 40 キロ以下 / 30 キロ以下」のいずれかでお知らせします。

直前
速度告知

オービス



ループコイル



新Hシステム



LHシステム



レーダー式

※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際の速度と異なる場合があります。
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、直前速度告知を行いません。

通過告知

オービスの撮影ポイントや登録されたマイエリアの通過をお知らせします。

『…通過します。』

通過告知

オービス



ループコイル



新Hシステム



LHシステム



レーダー式

※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際のオービス直下ではなく、通過前や通過後にお知らせする場合があります。
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスに対しては、通過告知を行いません。

制限速度告知

約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、走行中の道路の制限速度をお知らせします。

『…制限速度は〇〇です。』

「30 キロ / 40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ」のいずれかでお知らせします。

ループコイル

画面例



1km

500m

オービス



ループコイル



新Hシステム



LHシステム



レーダー式

※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。
※トンネル出口ターゲットや制限速度が本機に登録されていない場合は、告知しません。

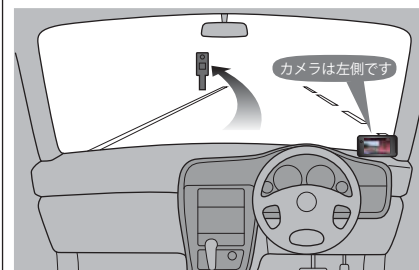
カメラ位置告知

約500m手前のオービス警報に続けて、オービスのカメラ位置をお知らせします。

カメラは左側です

『カメラは〇〇です。』

「右側 / 左側 / 正面」のいずれかでお知らせします。



※トンネル出口ターゲットに対しては、カメラ位置告知をしません。



マイエリア(●61ページ)
をお読みください。

制限速度切替告知(高速道路のみ)

高速道路への進入ポイント、パーキングエリア、サービスエリアなどの出口ポイントや高速道路から別の高速道路へのジャンクションで、高速道路本線の制限速度をお知らせします。

『高速道 制限速度は〇〇です。』
「40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ」のいずれかで
お知らせします。



※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

速度超過告知

「制限速度告知」、「直前速度告知」、「制限速度切替告知」を行う際に、車両の現在速度が制限速度を超えているときに、『スピード注意』または『速度超過です スピード注意』のボイスが付加されて流れます。

制限速度告知

直前速度告知

のボイスに付加されます。

制限速度切替告知

例

『…制限速度は 60 キロです。』

制限速度告知

(10km/h 以上超過)

『スピード注意』

(30km/h 以上超過)

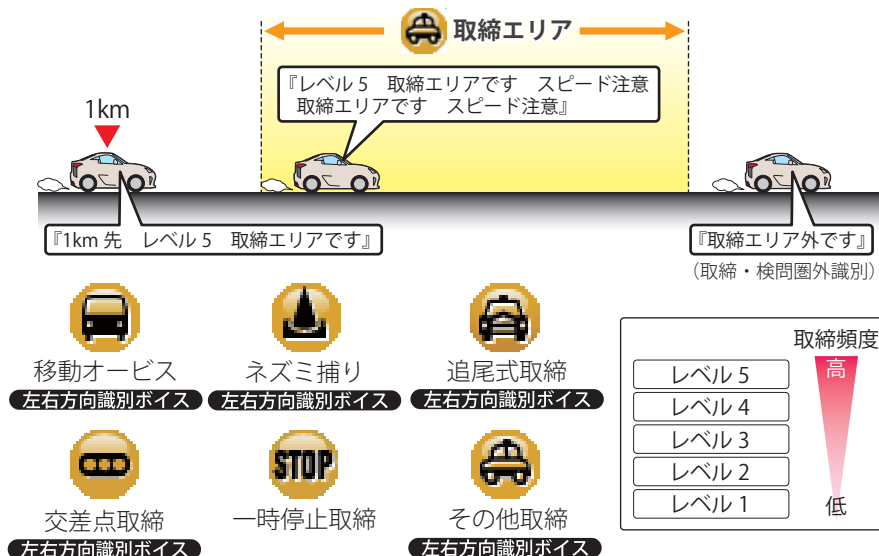
『速度超過です。スピード注意』

速度超過告知を付加

※走行速度はGPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、実際の速度と異なる場合があります。
※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。状況に応じた制限速度で走行してください。

取締エリア

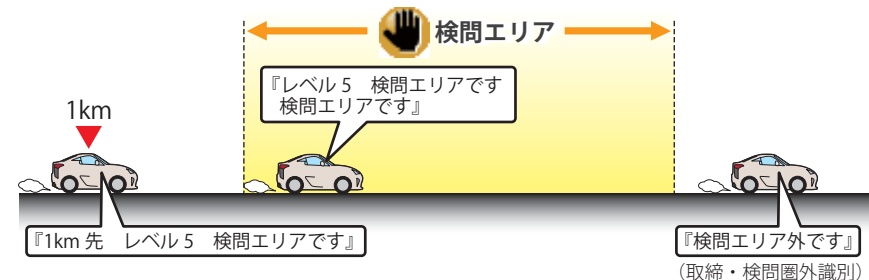
6種類の取締エリアに接近、取締エリアに進入、取締エリアから出た時の最大3段階で警報/お知らせします。



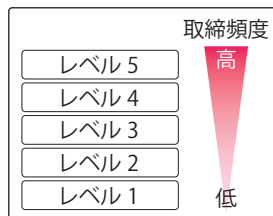
※「トンネル内追尾式取締エリア」と「トンネル出口直後ネズミ捕りエリア」から出た場合は、『取締エリア外です』のお知らせは行いません。
※一時停止取締エリアの警告は、取締エリアに進入したときのみ行います。
※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

検問エリア

4種類の検問エリアに接近、検問エリアに進入、検問エリアから出た時の最大3段階で警報/お知らせします。



- シートベルト検問
左右方向識別ボイス
- 携帯電話検問
左右方向識別ボイス
- 飲酒検問
左右方向識別ボイス
- その他の検問
左右方向識別ボイス



※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

取締・検問圏外識別

取締エリアまたは検問エリアから出た時にお知らせします。

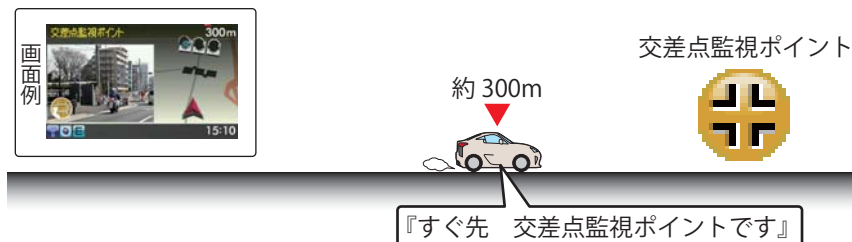
取締(検問)エリア



※本機に登録されている取締エリアは、過去のデータに基づいています。お知らせを行った後でも取締・検問を行っている場合があります。

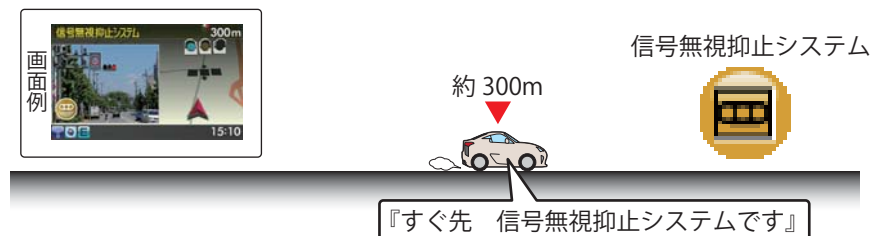
交差点監視ポイント

本機に登録されている、過去に検問が行われた交差点から約300mに接近するとお知らせします。



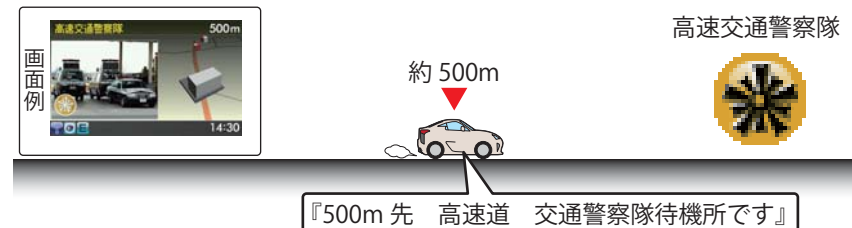
信号無視抑止システム

信号無視抑止システムから約300mに接近するとお知らせします。



高速交通警察隊

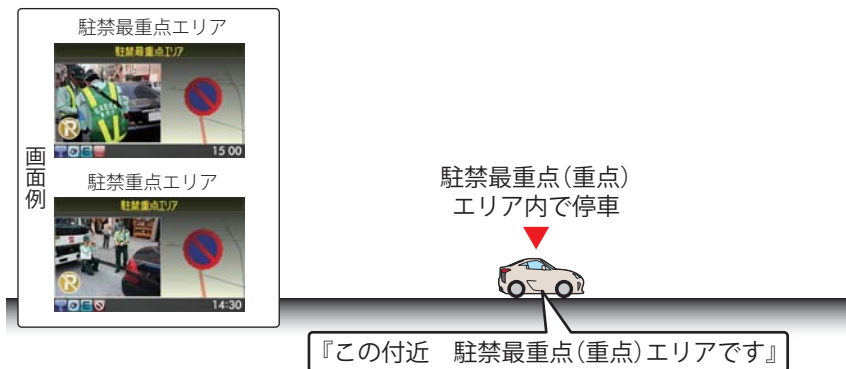
高速道 交通警察隊の待機所から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、距離の告知『500m先』が『300m先/200m先/100m先/すぐ先』になる場合があります。

駐禁監視エリア

本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。



一時停止注意ポイント

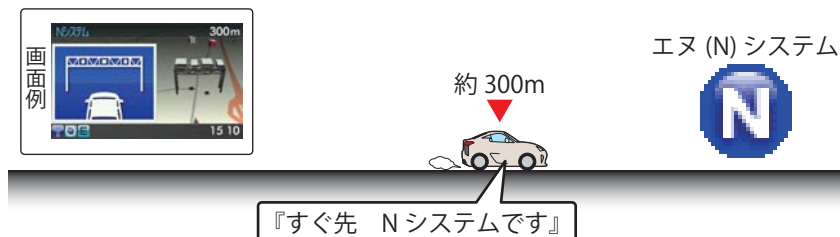
本機に登録されている一時停止注意ポイントのアイコンを表示します。



※東京都23区/名古屋市内/大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。

エヌ(N)システム

エヌ(N)システムから約300mに接近するとお知らせします。

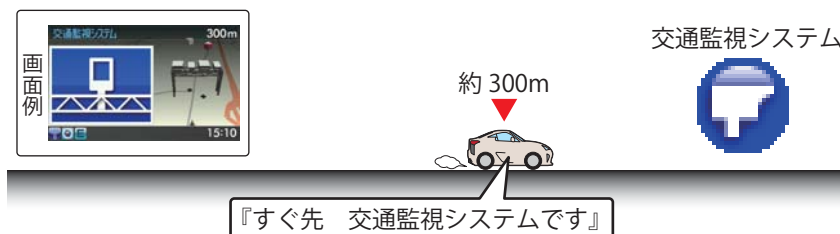


エヌ(N)システム

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

交通監視システム

交通監視システムから約300mに接近するとお知らせします。

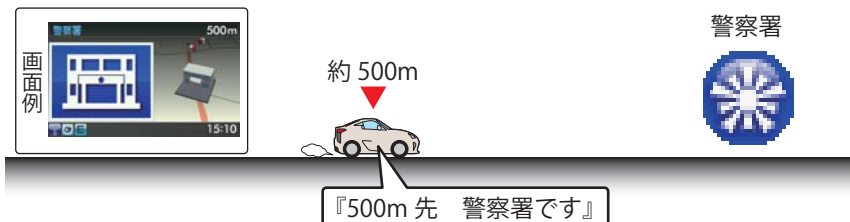


交通監視システム

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

警察署

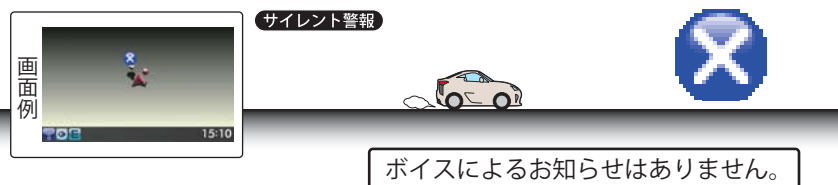
警察署から約500mに接近するとお知らせします。



※GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、距離の告知『500m先』が『300m先/200m先/100m先/すぐ先』になる場合があります。

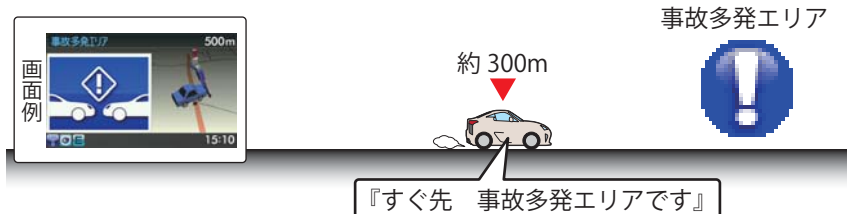
交番

本機に登録されている交番ポイントのアイコンを表示します。



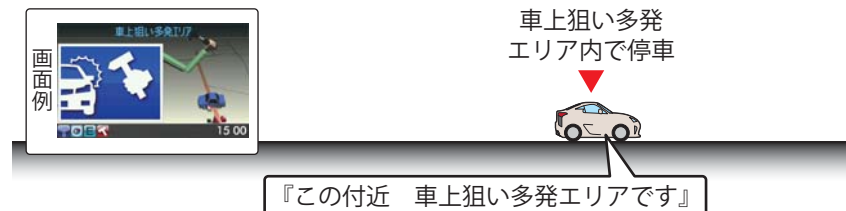
事故多発エリア

本機に登録されている、過去に事故が多発したエリアの約300mに接近するとお知らせします。



車上狙い多発エリア

本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、お知らせします。



踏切

本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。



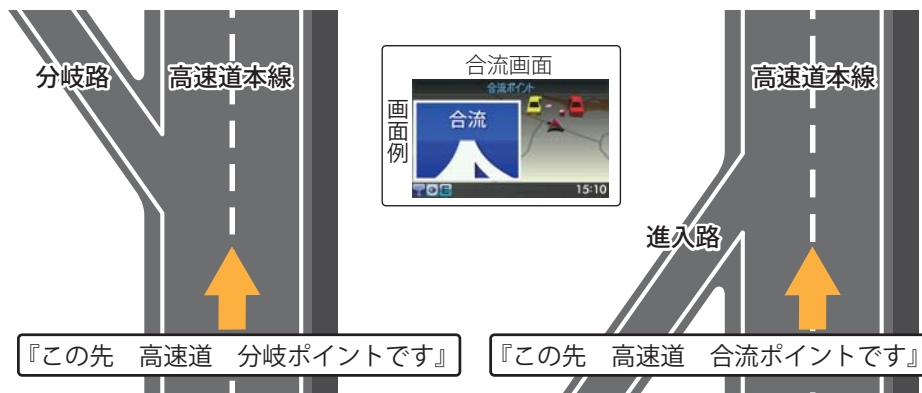
急(連続)カーブ(高速道路のみ)

高速道路の急(連続)カーブにさしかかると、お知らせします。



分岐(合流)ポイント

高速道路の分岐(合流)ポイントにさしかかると、お知らせします。



※GPSの受信状況やGセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

ETCレーン

ETCのある料金所にさしかかると、ETC用レーンの位置をお知らせします。

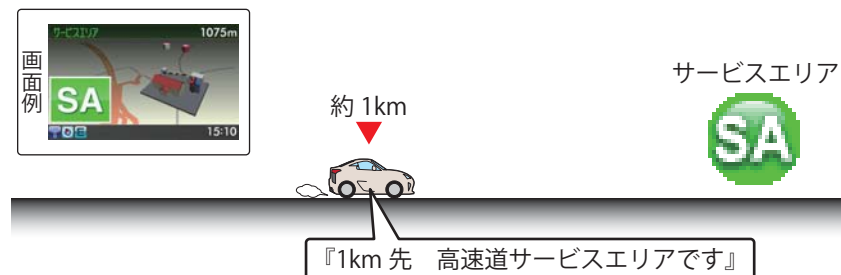


※実際の料金所ブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は、実際の標識等にたがって進入してください。

※交通量や時間によるETCレーンの位置変更には対応しておりません。目安としてお考えください。

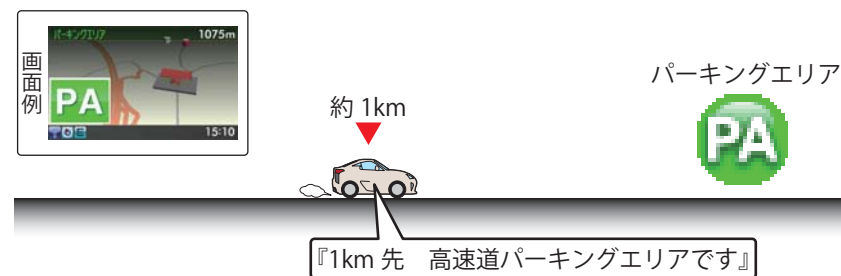
サービスエリア(高速道路のみ)

サービスエリアから約1kmに接近するとお知らせします。



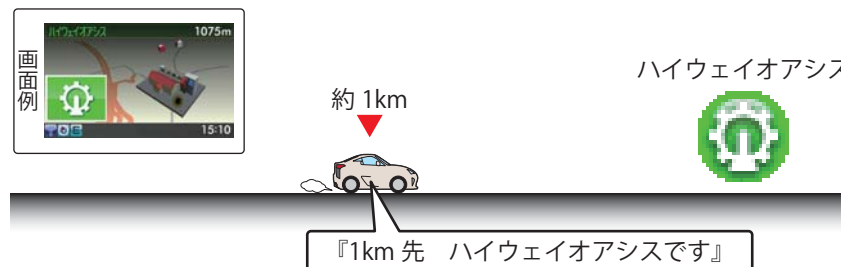
パーキングエリア(高速道路のみ)

パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。



ハイウェイオアシス

ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジがあるサービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスから約1kmに接近するとお知らせします。



約 1km



スマート IC
(スマートインターチェンジ)

- SA 『1km 先 高速道サービスエリアです スマートインターチェンジです』
- PA 『1km 先 高速道パーキングエリアです スマートインターチェンジです』
- SA/PA 『1km 先 高速道ハイウェイオアシスです スマートインターチェンジです』

※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジのお知らせも行いません。

SA/PA 内ガスステーション (高速道路のみ)

ガスステーションがあるサービスエリア、パーキングエリアから約1kmに接近するとお知らせします。また、本機にブランド名が登録されている場合は、ブランド名もお知らせします。



約 1km



ガスステーション

- SA 『1km 先 高速道サービスエリアです
ガスステーションがあります』
- PA 『1km 先 高速道パーキングエリアです
ガスステーションがあります』

本機にブランド名が登録されている場合
『ガスステーションは
〇〇(ブランド名) です』

※サービスエリア、パーキングエリアのお知らせを OFF に設定すると、ガスステーションのお知らせも行いません。

アドバイス サービスエリアもしくはパーキングエリアにスマート IC とガスステーションの両方がある場合。

例

約 1km



ガスステーション
スマートインターチェンジ

『1km 先 高速道サービスエリアです スマートインターチェンジです
ガスステーションがあります ガスステーションは〇〇(ブランド名) です』
ガソリンスタンドのブランド名は、本機にブランド名が登録されている場合にお知らせします。

長い(連続)トンネル(高速道路のみ)

長い(連続)トンネルから約1km(500m)に接近するとお知らせします。



約 1km

約 500m

トンネル



『1km(500m)先 高速道 長い(連続)トンネルです。』

ハイウェイラジオ (高速道路のみ)

ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。



ハイウェイラジオ

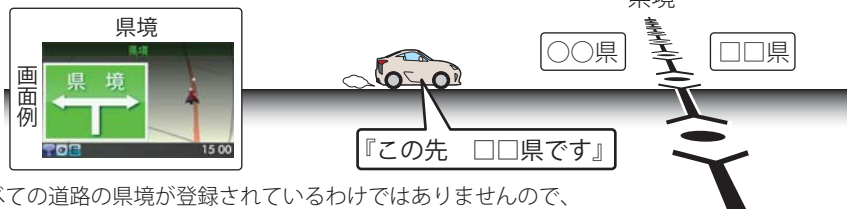


『高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです』

警報ボイスについて

県境 (高速道路および主要一般道路のみ)

県境に接近するとお知らせします。



※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

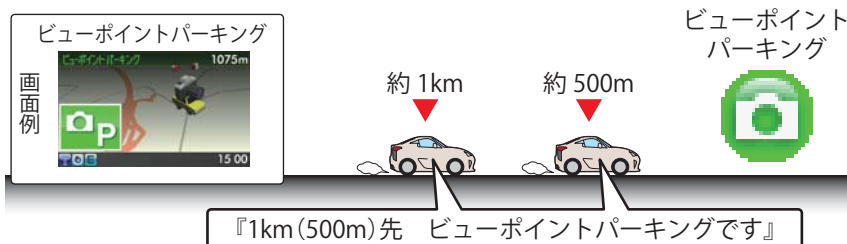
道の駅

道の駅から約1km(500m)に接近するとお知らせします。



ビューポイントパーキング

ビューポイントパーキングから約1km(500m)に接近するとお知らせします。



駐禁エリア付近駐車場

本機に登録されている駐車場エリア付近のアイコンを表示します。



消防署

本機に登録されている消防署のポイントをアイコン表示します。



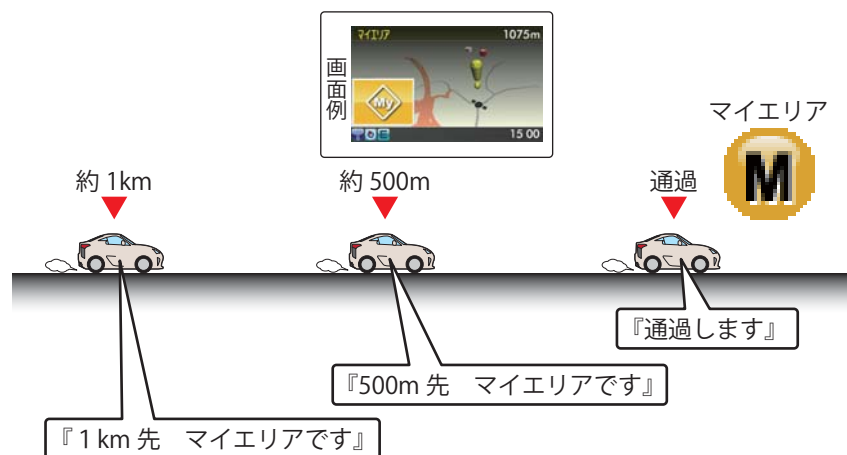
公衆トイレ

本機に登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。



マイエリア

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。マイエリアの登録・設定解除方法については、「マイエリアの登録・解除」(63ページ)をお読みください。



各種無線電波について

無線発信源の位置を表示することはできません



無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

カーロケ無線(カーロケターシステム)



『カーロケ近接受信です』
『カーロケ遠方受信です』

『カーロケ圏外です』

カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

- カーロケターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。
- カーロケターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。



カーロケターシステム

「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。

取締無線



『取締無線です』

- 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。



取締無線

スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。

警告させたい地点を登録する(マイエリア登録)

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、インテリジェントキャンセル(●69ページ)、マイキャンセルエリア(●64ページ)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

- ① 登録したい地点で▶エリアボタンを押します。



- ② 再度、▶エリアボタンを押します。

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイエリアを解除する

- ① マイエリア登録されているエリアで、▶エリアボタンを押します。



- ② 再度、▶エリアボタンを押します。

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●67ページ)を参照ください。

マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約1km/500m/通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉

『通過します』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。

レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する(マイキャンセルエリア登録)

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(●63ページ)、インテリジェントキャンセル(●69ページ)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS52識別(●45ページ)や無線2バンド識別(●43ページ)・ベストパートナー2識別(●43ページ)の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する

- 登録したい地点で④キャンセルボタンを押します。



- 再度、④キャンセルボタンを押します。

『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

登録したマイキャンセルエリアを解除する

- マイキャンセルエリア登録されているエリアで、④キャンセルボタンを押します。



- 再度、④キャンセルボタンを押します。

『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

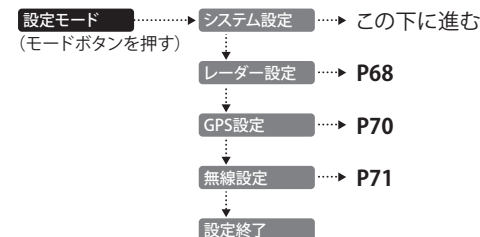
- すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●67ページ)を参照ください。

カスタマイズ (システム設定)

つづく

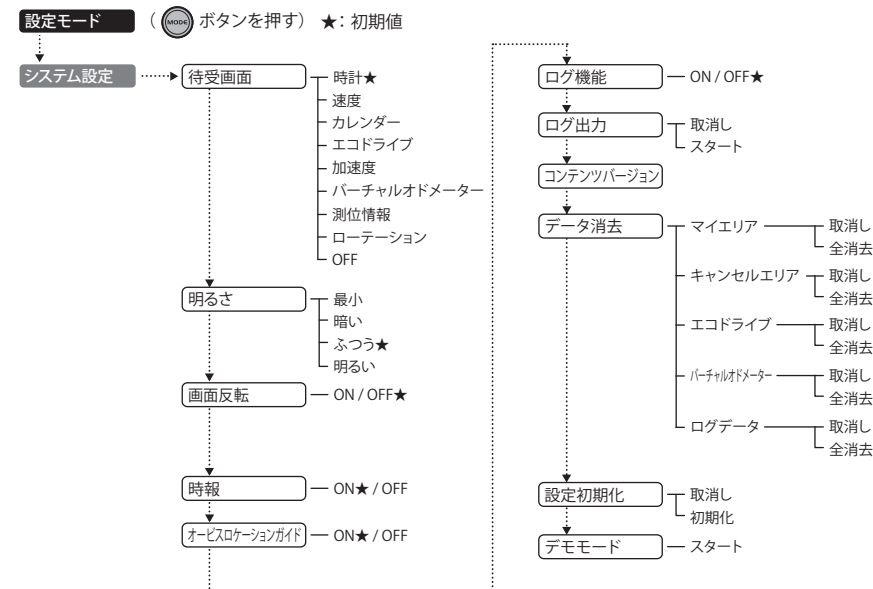
設定メニュー

待受画面で[MODE]ボタンを押すと設定モードメニューが表示されます。変更したい項目で[右]ボタンを押すと、各種設定が細かく変更できます。



システム設定

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈待受画面〉

警報待受時の画面表示を「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「バーチャルオドメーター」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。

各画面の詳細については、「待受画面」(☛32ページ)を参照してください。

- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 走行速度の表示は、GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
- ローテーションは、「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「バーチャルオドメーター」「測位情報」が1分間隔で切り替わります。
- 「OFF」に設定すると待受画面は表示されませんが、GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)は行われます。
- GPS設定(☛70ページ)で、「レーダー画面固定」を選択すると、常に3Dゾーンマップレーダースコープ画面を表示します。
- 初期設定は「時計」に設定されています。
- [FUNC]ボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更することが可能です。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

- 初期設定は「ふつう」に設定されています。

〈画面反転〉

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転することができます。

- 初期設定は「OFF」に設定されています。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。

「午前(午後)〇〇時です」

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈オービスロケーションガイド〉

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

- 初期設定は「ON」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約12時間分の走行データを記録することができます。(☛73ページ)

- 初期設定は「OFF」に設定されています。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを付属(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーします。

- スタートを選択し、[MODE]ボタンを押すとコピーを開始します。(☛73ページ)

〈コンテンツバージョン〉

登録されているGPSデータ情報が表示されます。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(インテリジェントキャンセル・マイキャンセルエリア)」「エコドライブ」「バーチャルオドメーター」「ログデータ」のデータを消去することができます。

- 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、エコドライブ、バーチャルオドメーター、ログデータ)を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- いったん初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

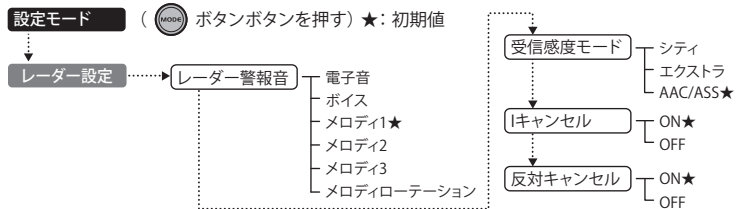
- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中にリモコン操作するとデモモードは終了します。

カスタマイズ（レーダー設定）

レーダー設定

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈レーダー警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
メロディ1(初期値)	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信すると、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

〈受信感度モード〉

レーダー受信感度を選択できます。

- 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
- 初期設定は「AAC/ASS」に設定されています。

選択項目	アイコン表示
シティ	
エクストラ	
AAC/ASS	(時速30km未満) (車速により変化)

「シティ」・「エクストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km			警報しない
30km～39km	シティ		警報する
40km～	エクストラ		警報する

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、エクストラになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。

〈アイ(I)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

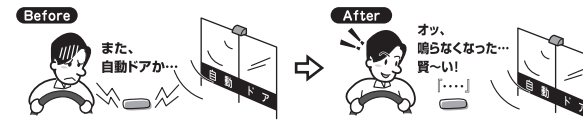
登録数は、アイキャンセル、マイエリア(●63ページ)、マイキャンセルエリア(●64ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。

1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

- 初期値は「ON」に設定されています。

アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]



・キャンセル中の画面



レーダー波の受信レベル

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(●67ページ)をご覧ください。

〈反対キャンセル(反対車線オービスキャンセル機能)〉

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

- 初期値は「ON」に設定されています。



反対車線オービスキャンセル中の画面

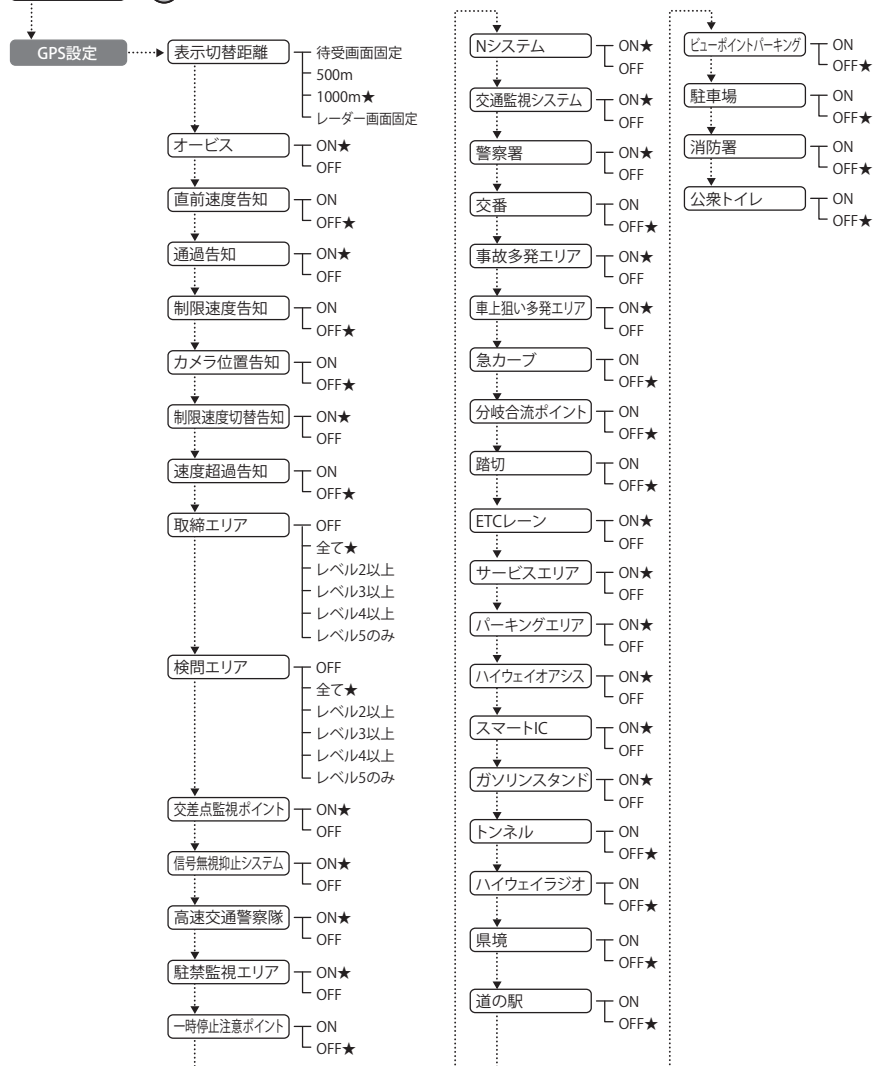
カスタマイズ (GPS設定)

GPS設定

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

設定メニュー

設定モード ((M) ボタンを押す) ★: 初期値



設定項目の詳細説明

〈表示切替距離〉

待受画面から3Dゾーンマップレーダースコープ画面に切り替わる距離を選択できます。

- 待受画面固定を選択した場合、待受画面のまま3Dゾーンマップレーダースコープ画面に切り替わりません。
- レーダー画面固定を選択した場合は、常に3Dゾーンマップレーダースコープ画面を表示します。
- 初期設定は「1000m」に設定されています。

その他の設定項目の詳細説明は「警報ボイスについて」(45ページ)をご覧ください。

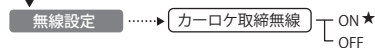
カスタマイズ (無線設定)

無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

設定メニュー

設定モード ((M) ボタンを押す) ★: 初期値



設定項目の詳細説明は「各種無線電波を受信すると…」(43ページ)をご覧ください。

今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① リモコンの[FUNC]ボタンを長押し(約1秒)してQRコードを表示させる。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
- ③ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
 - ② リモコンの[FUNC]ボタンを長押し(約1秒)して緯度(N)・経度(E)を表示させる。
 - ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。
- 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト
<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>

詳しくは、弊社ホームページ「itY. MAPサービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)をご覧ください。

ログ機能[特許 第4718569号]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約12時間分)をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、付属(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

●下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
 - Microsoft Windows 7(32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows Vista(32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows XP(32bit版)※
 - Microsoft Windows 2000
- ※64bit版は、未対応となります。
- .NET Framework2.0以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

●ご用意いただくもの。

- microSDカードリーダー(2GB対応のもの)
- SDカードリーダーやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp>)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConvert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(●66ページ)すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、待受画面のアイコン表示部にパーセント表示されます。

 0% 17:08

- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(●67ページ)を行うまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(●67ページ)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

レーダー探知機の表示部を見ながらリモコンのボタン操作を行ってください。

- ① [MODE]ボタンを押し、設定モードにする。
- ② 「システム設定」の項目を▲▼ボタンで選択し、[MODE]ボタンを押す。
- ③ 「ログ出力」の項目を▲▼ボタンで選択し、[MODE]ボタンを押す。
- ④ 「スタート」の項目を▲▼ボタンで選択し、[MODE]ボタンを押す。

<コピー中の画面>



- microSDカードへコピーを行ったあと、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去(全消去)を行ってください。(●67ページ)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。
- ② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ(*.Log)を選択する。

③「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

- 走行軌跡の確認後は、microSDカードをリーダー探知機に装着してご使用ください。(●25ページ)
- 必要に応じ、microSDカード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、GPS更新データ(pictureのフォルダ等)を削除しないようにご注意ください。

ity.データ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスでGPSターゲットデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity.クラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

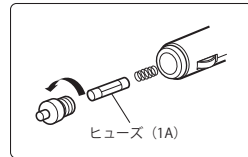
☎0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。(●79ページ)

故障かな？と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。(●28ページ) - シガープラグコードがはずれていませんか。 - シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。 2、3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。  - シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。  - 付属のmicroSDカードを装着していますか。または、抜けかけていませんか。本機は付属のmicroSDカードが入っていないと起動しません。(●25ページ)
エンジンを止めて、イグニッションをOFFにしても電源が切れない	シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を切ってください。

故障かな？と思ったら

症 状	チェック項目
レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。(●28ページ) - 警報機能が正しくはたらかいますか。[TEST&MUTE]ボタンを押して確認してください。(●15ページ) - 取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。(●64ページ) - インテリジェントキャンセルされていませんか。(●69ページ) - 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(●68ページ) 「マナーモード」になっていませんか。[上]ボタンを押して解除してください。
音が出ない	音量「0」になっていませんか、音量を調節してください(●30ページ)
地図にズレがでる	- GPS測位していましたか。障害物や遮蔽物の無い視界の良い場所へ移動してみてください。 - マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
GPS 警報しない	- GPS 測位していましたか。(●11ページ) - 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもししていないのに警報機能がはたらく	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)
ひんぱんに無線警報する	- 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 - また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が発射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	「カーロケ取締無線」を「ON」に設定していましたか。(●71ページ) - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

症 状	チェック項目
誤警報がキャンセルされない	「アイ(Ⅰ)キャンセル」(インテリジェントキャンセル)の設定は「ON」になっていましたか。(●69ページ) - GPS測位していましたか。(●11ページ) - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 - 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
何も表示しない	「マナーモード」になっていませんか。[上]ボタンを押して解除してください。 「待受画面」の設定が「OFF」ではありませんか。[FUNC]ボタンを押して待受画面を変更してください。
画面に%(パーセント)表示される	ログ機能をONにすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%～100%)します。(●66ページ)、(●73ページ)
リモコンで操作できない	- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。(●24ページ) - リモコンの赤外線が遮られていませんか。 - 本機の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
速度表示が車両の速度計と異なる	車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	動作温度範囲	: -20℃～+85℃ (UHF部: -10℃～+60℃)
消費電流	: 待機時: 70mA以下(無線OFF時) 最大: 190mA以下	外形寸法	: [本機] 95(W)×54(H)×20(D)mm [リモコン] 35(W)×56(H)×6(D)mm (突起部除く)
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スーパースーパーヘテロダイナミック方式	重量	: [本機] 約92g(microSDカード含む) [リモコン] 約11g(電池含む)
測位更新時間	: 最短1秒		
表示部	: MVA液晶ディスプレイ ワイド3.2 インチ		
受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 336～470MHz帯		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036